

富津市社会教育委員会議 会議録

1	会議の名称	令和7年度第2回富津市社会教育委員会議
2	開催日時	令和8年2月12日(木) 午後2時30分～午後3時30分
3	開催場所	富津市役所5階 502会議室
4	審議等事項	議題 (1) 令和7年度富津市社会教育・生涯学習関係 事業報告について (2) 令和8年度富津市社会教育・生涯学習関係 事業計画(案)について ・その他報告事項等
5	出席者名	○出席委員 保坂典江、内藤健一、大野泰代、高橋栄二、杉田 玲子、石井喜美子、佐藤泰代 ○事務局 山下教育長、中山教育部長、篠田生涯学習課長、 長谷川公民館長、鈴木社会教育係長、伊藤社会教 育主事、伊藤社会教育指導員、藤田社会教育指導 員
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	1人(定員5人)
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和8年 月 日

富津市社会教育委員

会議録署名委員

\_\_\_\_\_

会議録署名委員

\_\_\_\_\_

「令和7年度第2回富津市社会教育委員会会議」会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 (篠田課長)</p>	<p>皆さんこんにちは。出席予定の委員がお揃いですので始めさせていただきます。</p> <p>本日はご多用の中ご出席いただきましてありがとうございます。会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の篠田です。よろしく願いいたします。会議に先立ちまして、事務局から配付資料の確認をさせていただきます。</p>
<p>事務局 (鈴木係長)</p>	<p>【配布物の確認。会議次第、名簿、座席表、資料1、資料2、(写)文書、参考資料、結果報告(各研修大会等、二十歳の集い)、冊子(社教情報、社教連会報)】</p>
<p>事務局 (篠田課長)</p>	<p>次に、本日の出席状況でございますが、出席委員は7名、欠席委員は4名です。従いまして、過半数委員の出席がございますので、社会教育委員会会議運営規則第3条第5項による、定足数を満たしていることをご報告いたします。</p> <p>次に、会議の公開について説明させていただきます。富津市情報公開条例第23条第1項の規定により、公開することになっております。この規定により、本会議につきましても、傍聴者の受け入れ体制を整備し、会議の議事結果を公表することとしております。なお、本日、傍聴者が1名いらっしゃることをご報告させていただきます。また、会議録作成のため録音させていただきますことをご了承願います。</p> <p>それでは、はじめに、高橋委員長からご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>委員長の高橋です。お忙しいなかお集まりくださりありがとうございます。最近では地元の佐貫小学校の閉校関連事業で</p>

動いています。午前中もその用事で県文書館に行ってきたところですが、小学校について専門の先生方多数の中で恐縮ですが、明治5年の学制によって各村に小学校が作られ、佐貫にも3つの小学校が作られたそうです。その費用をどう賄ったのか疑問でしたが、当時の村民が私財を投じて負担していたようです。とても歴史のある学校ですが、この3月で閉校しますので、24日に式典を行います。

今日は前回6月以来の第2回会議ということで、よろしくお願いいたします。

事務局  
(篠田課長)

ありがとうございました。続きまして山下教育長からご挨拶を申し上げます。

山下教育長

改めましてこんにちは、教育長の山下です。本日はご多用のところ、社会教育委員会議にご出席いただきましてありがとうございます。

今年度は、富津市教育委員会にとってうれしい出来事が二つありました。一つ目は、かねてより単体で国指定史跡でありました内裏塚古墳を含む古墳群が、新たに内裏塚古墳群として国の史跡に指定されたことです。二つ目は、設置にあたって皆様方にもご尽力いただきました市立図書館が、開館3年目で二つの50万、来館者数50万人・貸出冊数50万冊を達成したということで、素晴らしい実績を上げています。いずれも富津市が誇れる大切な財産として、子どもたちや市民に広く活用いただくために、引き続きお力添えをいただきたいと思います。

今回の議題は今年度、また来年度の社会教育・生涯学習事業ということで、委員の皆様のご忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

<p>事務局 (篠田課長)</p>	<p>ありがとうございます。それでは、早速、議事に入らせていただきます。</p> <p>これより議事の進行につきましては、社会教育委員会議運営規則第3条第4項により、委員長が議長となる、とされていることから、高橋委員長に議長の職を務めていただきます。高橋委員長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>それでは、ここからは私が議事進行を務めさせていただきます。円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。議題に入る前に、会議録署名人2名の指名を行いたいと思います。慣例により私から指名することによりでしょうか。(異議なしの声)</p> <p>保坂委員と内藤委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第の4、議事に入ります。</p> <p>(1) 令和7年度富津市社会教育・生涯学習関係事業報告について、及び(2) 令和8年度富津市社会教育・生涯学習関係事業計画(案)について、まとめて、事務局の説明を求めます。</p>
<p>事務局 (鈴木係長)</p>	<p>それでは、本年度の事業報告、来年度の事業計画をご説明いたします。</p> <p>まず資料1に基づき、今年度の事業報告ですが、1 学び生かす生涯学習の推進から、4 スポーツ・レクリエーションの振興まで、4つの柱がありまして、これは、本市の教育振興基本計画となる「富津市教育施策」、令和6から8年の3か年のものですが、これに沿ってそれぞれの施策・事業を推進しております。</p>

主だった項目を説明いたします。1 ページ、1 学び生かす生涯学習の推進では、2 番目の「生涯学習情報の収集・提供」では、人材バンク「まちの先生」の登録・利用を促進するとともに、市民に学習の機会を提供するため『富津市生涯学習情報』を発行しております。「まちの先生」は、登録者の高齢化/転居などで、現在の登録者数は 30 名、年度当初から 1 名の減となっております。新たな先生の担い手の確保が課題となっております。生涯学習情報については、内容を随時更新し市ホームページに公開するとともに、千葉県さわやか県民プラザが展開している千葉県生涯学習情報提供システム「ちばりすネット」にも情報を掲載しました。

4 番、「社会教育委員会議」では、本定例会の開催、また今年度は 4 市社教委員を集めて、富津公民館で研修会を開催しました。また、各大会への参加などもありまして、これは次第にあります報告事項で、後ほど報告いたします。

5 番、「生涯学習バスの運行」ですが、2 台体制の運行で、おおよそ前年度と同じ程度の利用となっておりますが、予約・利用・キャンセルなど、年度末まで動きのあるものとなります。

7 番、「図書施設」については、図書館開設から 3 年度目となりますが、来館者は記載のとおりでして、前年度同時期と比べておおよそ 98% 程度となり、ほぼ同じ数の来館者数を維持している状況です。昨年 6 月には開館以来 40 万人、12 月末には 50 万人の来館者を達成し、1 月 2 日には達成記念寄席と抽選会が実施されました。貸出冊数は記載のとおりでして、内訳では約 9 割が市立図書館、1 割が移動図書館及び公民館等図書室となり、前年と比べてほぼ同等の冊数となっております。また、図書に関しては、令和 5 年度にこの会議で策定しました、第 2 次富津市子ども読書活動推進計画、これが令和 6 年度から 5 年間のものですので、来年度が 3 年目となりま

すので、中間報告等行いたいと考えております。

続いて2ページ上段、8番の「ふつつ検定」ですが、第2回の検定を今月開催予定となっております。また出張版ふつつ検定ということで、市内の小学校5校で順次開催しているところでございます。

2 家庭教育への支援と連携・協働の推進ですが、2番、「子どもの読書活動の推進」では、ブックスタート事業を乳児4か月健診に合わせて市職員及びボランティアにより、毎月継続実施をしております。また、おはなし会の開催や学校・保育所等への団体貸出の利用促進など、子どもが読書に興味をもつ機会を、こちらは市立図書館事業として提供いたしました。それぞれの実績については、記載のとおりとなっております。

3番、「地域と学校の連携協働体制の構築」ですが、家庭教育指導員や支援員、社会教育指導員によりまして、放課後ルームを3小学校で、学習サポート会を中央公民館でそれぞれ実施して参りました。参加者数は記載のとおりです。また、中央公民館の事業として、大貫小学校をモデルケースとして、地域学校協働活動の支援を実施しました。実施内容はゲストティーチャーの派遣、学校運営協議会への参加、情報交換会の開催となっております。

続きまして、3ページの3 郷土愛を育み多様な文化にふれ親しむ環境づくり、ですが、1番、「歴史・郷土文化の保護と活用」ということで、市内に所在する貴重な文化財を適切に保護・管理し、それを公開・活用することで地域の歴史・文化等に対する認識と理解を深めるということ、記載のとおりであります。内裏塚古墳群として7基の古墳を追加し昨年9月に追加指定となったところです。11月には富津公民館で史跡追加指定記念講演会を開催しました。12月には、古墳群の保存活用計画を策定するため、有識者からなる検討委員会

を立ち上げて、今後の整備の方向性を決めて参ります。鋸山についても、日本遺産認定に向けて、記載のとおり各種の事業を行ってきました。

その下、4 スポーツ・レクリエーションの振興ですが、昨年度には、施設整備で総合社会体育館メインアリーナの照明や暗幕の改修を行いまして、今年度は工事等はありませんでしたが、各種の取り組みにより施設の利用促進を図ったところですが、次のページですが、地域におけるスポーツ・レクリエーションの振興として、各事業を実施しております。ふれあいスポーツフェスタは今年度も開催しましたが、残念ながら降雨により途中中止となってしまったところですが、スポーツ推進委員、スポレク推進員、各スポーツ団体と連携・協力して、ウォーキングイベントやスポーツ教室の開催し、また市内古墳を巡る市民ハイキングやスポレク推進員による富津市出前講座でボッチャの指導を行うなど、工夫を凝らした行事を開催しました。事業報告については以上となります。

続きまして、議題（2）令和8年度の事業計画（案）についてご説明いたします。

資料2をご覧ください。令和8年度も引き続き、富津市教育大綱の基本理念『市民一人一人が生涯にわたって学ぶことができ、その成果を活かすことのできる生涯学習社会の実現』を目指し、4つの展開施策毎に各種の施策・事業を推進していきます。新規または拡充事業を中心に説明させていただきます。

展開施策1、「学び、活かす生涯学習の推進」、(1)学習機会の提供、③の「生涯学習推進体制の整備」では、君津地方4市の社会教育委員連絡協議会による、社会教育推進大会を、富津公民館のホールにて開催いたします。こちら4市持ち回りで開催しているもので、令和8・9年度が当市の当番とな

ります。4市の社会教育委員はもとより、学校・公民館など関係者、また一般の方などにも広く参加いただきたいと考えております。テーマ・講演・事例発表等の内容について、検討していく必要がありますので、委員の皆様にもご協力いただきたいと思います。（3）社会教育施設の整備、①図書施設の適正な管理については、市立図書館をはじめ、公民館図書室、移動図書館、電子図書館、全ての図書施設において計画的な蔵書の拡充を行い利用環境の向上を図るとともに、利用者ニーズに沿った図書サービスの提供、指定管理者と連携した特色あるイベント等を実施し、読書推進に努めていきます。

続きまして、展開施策2、「家庭教育への支援と連携・協働の推進」の（2）地域学校協働活動の推進では、来年度は富津小、大佐和小、天羽小の3校で放課後ルームを開設します。こちらでございますが、この会議の6月の第1回で検討課題とした件でございます。次の資料で、上部に写しと書いた昨年12月16日付けで委員の皆様にお送りした文書ですが、こちらに本年度の経過を記載しております。8月には勉強会の形で、委員の皆様にもお集まりいただきました。閉校後の環小学校で実施することは、活動場所が体育館のみとなり、また施設の利活用の方針でおそらく限定的な期間での使用になるなど、もともと難しい状況でありましたが、統合後の天羽小学校で開催するという方向で、本日保坂校長先生も出席いただいておりますが、放課後ルーム実施にあたり適当なスペースの提供にもご協力いただきまして、来年度天羽小学校で実施する予定となっております。保護者への参加意向調査も実施しております。なお、見守りや一緒に活動してくれるボランティアの確保は、継続した課題となっているところでございます。

では資料2に戻っていただき、裏面の上段からご覧ください。（3）青少年健全育成の推進では、スポーツ少年団の活動

支援ということで、来年度は、山梨県甲州市との交流事業、また、日独スポーツ少年団の同時交流受入ということで、種目は柔道で、ドイツ人高校生をホームステイで受け入れるという本市では初の事業、といった予定がございます。

展開施策の3、「郷土愛を育み多様な文化にふれ親しむ環境づくり」ということで、(1)文化財の保存・活用では、国史跡内裏塚古墳群の保存活用計画について、有識者及び地元関係者の意見を伺いながら計画の策定を進めて、令和9年度中に策定予定となっております。また、ふつつデジタルミュージアムということで、こちらは市立図書館の事業になりますが、古写真、出土遺物など市の文化財等をデジタルデータ化しまして、また地図やドローン映像なども加えて、来年度初旬からデジタルミュージアムとして一部公開する予定です。

②番、鋸南町と共同で実施している、鋸山日本遺産候補地域活用事業については、引き続き、両市町が一体となり、地域活性化につながるよう取り組んでいきます。

最後に、展開施策の4、「スポーツ・レクリエーションの振興」では、スポーツ推進委員、スポレク推進員やスポーツ団体と連携・協力しながら、イベント行事等の創意工夫を図り、多くの市民の参加促進、健康増進に努めてまいります。②の学校開放では、閉校する佐貫小は、利活用について決定するまでの間、体育施設としてこれまでの利用団体に開放されます。簡単ではございますが、以上、令和8年度の社会教育・生涯学習関係事業計画(案)でございます。議題の説明については以上となります。

高橋委員長

事務局の説明は終わりました。委員の皆さんからの、ご意見、ご質疑を伺います。ご意見等ございますか。

石井委員

整いませんが、ご質問します。多岐にわたる事業を実施し

	<p>ていて、職員の方々も日ごろから尽力されていると思います。資料の事業には、生涯学習課が管轄するものと公民館が行うものがありますが、両課の連携をどう図っているのでしょうか。国の動向を反映するとか、社会情勢や市の状況に応じた事業展開をするためには、行政関係者の連携が大事だと思いますので。また、公民館講座の参加者増、継続のためにはニーズのある講座を実施していくことが必要だと思いますが、どのように調査、把握をしていますか。</p>
<p>事務局 (篠田課長)</p>	<p>月に1回ですが、生涯学習課と公民館の職員、公民館に勤務する社会教育指導員と生涯学習課の家庭教育指導員の先生方が集まって、報告・連絡などを行う会議を行っていて、定期的にはこの機会に、それぞれの事業内容や予定などを確認しています。</p>
<p>石井委員</p>	<p>その際には意見交換などもされるのですね。</p>
<p>事務局 (篠田課長)</p>	<p>はい。</p>
<p>事務局(長谷川館長)</p>	<p>講座の実施にあたっては、受講者へアンケート調査を行っています。このほか2年に1回、来館者アンケートを実施し、ニーズ調査を行っております。今年度実施しており、320件の回答を得ており、来年度の講座へ反映しております。受講者の参加傾向ですが、コロナ禍以降、少し回復しましたが、令和5年度、6年度はほぼ横ばい状態となっています。小学校に出向く機会もありますので、学校側のニーズを把握する機会としています。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>他にありますか、無ければ私から。教育振興事業補助金を受けている団体で、寺子屋とありますが、これはどういふも</p>

	<p>のですか</p>
<p>事務局 (篠田課長)</p>	<p>退職された教員の方々が集まって、地域の小・中学生に週一回、無償で勉強を教えているというものです。会場を借り上げる費用についてだけ申請があり、補助金の対象となっています。他の費用は自費の持ち出しで運営されているようです。</p>
<p>事務局 (伊藤社会教育主事)</p>	<p>補足しますと、市が実施している「学習サポート会」も地域未来塾ですが、本来市が実施すべきだけれども手が回らない部分について民間でしていただいているということから、実質的には地域未来塾である「寺子屋」に対して市の補助金を交付しています。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>地域未来塾なのですね。わかりました。他には。</p>
<p>石井委員</p>	<p>ありがたいことに毎回事前に会議資料を送っていただいて、目を通させていただくと、いろんなことを考えてしまって、またまとまらないまま、よく知らないだけで失礼なことも話してしまうかもしれませんが、お許してください。</p> <p>富津市内には、事業計画にある内裏塚古墳群をはじめ非常に貴重な歴史的文化的文化財などが数多くあります。しかし、図書館は出来ましたけれども博物館はまだありませんが、そういったものを、是非とも市民、特に子どもたちにふれさせていたいただきたい。すでに行っていることかもしれませんが、学校での学習活動はもちろんですが、郷土のすばらしさを知って、大切に思う気持ちを育てていって欲しいと思います。</p> <p>そこどうかがあります。まず公民館事業として実施する、ふつつ検定、ふつつ学について、具体的にはどのような内容のものなのか、教えていただきたいと思います。</p>

<p>事務局（長谷川館長）</p>	<p>また、内裏塚古墳群保存活用計画とありますが、文化財を保存して活用していくためには、文化財専門の方はもちろんですが、まちづくり関係の視点も必要ですし、デジタルミュージアムというのもあるようですが、幅広い方面からのアプローチが必要であると考えますが、そのあたりはどのようなになっておりますでしょうか。</p> <p>ふつつ検定については、市の歴史文化、観光・産業や、ふつつふるさとカルタなど、さまざまなジャンルから出題し、学習を通じて市への誇りと愛着を醸成することを目的に実施しています。第2回目となる今年度は、2月23日に実施します。また、小学校へ出向き、児童を対象に出張検定として、5校で実施する予定です。</p> <p>ふつつ学講座も市へ誇りと愛着をもてるよう、市の歴史文化・観光・産業などの幅広い内容を学習する講座として実施しており、来年度も実施する予定です。なお、今年度実施した内容としましては、産業ではJERA（東京電力）の工場見学、歴史文化では富津公園周辺の戦争遺跡巡り（公開講座）、食文化では海苔養殖・江戸前オイスターについて、観光では海苔すき体験・埋立記念館見学等を実施しています。</p>
<p>事務局（伊藤社会教育主事）</p>	<p>保存活用計画については、市域全体の文化財等を対象とする地域計画も必須ですが、まず、内裏塚古墳群保存活用計画をということで、2か年度で策定する予定です。策定委員会の委員としては、歴史・考古学の教授の方々はもちろんですが、おっしゃる通り、まちづくり工学の教授のほか、造園学、植物学の先生方や観光の専門家、地元の代表区長の方々などに委嘱しています。</p> <p>また、石井委員のおっしゃる通り、当市には博物館がありませんが、特に文化財や郷土資料の収蔵施設の確保が急務と</p>

	<p>なっています。物理的な収蔵・展示は今後地道に進めていかなければならないことですが、デジタルデータとして保存・活用を図るというデジタルアーカイブ事業が図書館の指定管理に入っておりますので、それを利用して、博物館がないこともあって「デジタルミュージアム」と称して、博物館の入口に相当するようなプラットフォームを作っております。</p> <p>予算の制限もありますので、最初はごく限られた点数ですが、出土遺物や遺跡・遺構などの3D画像を収録したり、古い町並みの写真や、富津ふるさとカルタの題材を電子地図に結び付けたり、市のホームページの解説に紐づけたり、といった既存のものも活用しながら、来年度の初め、4月には公開して、郷土愛を育て内外に発信できるようなプラットフォームとして今後も拡充していく予定です。</p>
高橋委員長	<p>事務局の説明は終わりました。他にありますか。(なし)</p> <p>ご意見等も以上のようなので、ここで、お諮りしたいと思います。令和7年度の事業報告及び、令和8年度の事業計画について、承認いただける方は挙手を願います。(全員挙手)賛成多数と認めます。</p> <p>それでは、「令和8年度 富津市生涯学習関係事業計画」の(案)を消してください。</p>
高橋委員長	<p>次に、次第の5、「報告」に入ります。</p> <p>まず報告事項のうちの、研修・大会などが4件ありますので、君津地方社会教育委員連絡協議会研修、関東甲信越静社会教育研究神奈川大会、千葉県社会教育振興大会、君津地方社会教育推進大会、以上4件についてまとめて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>報告事項の(1)ですが、本年度開催のありました研修事業</p>

(鈴木係長)

の報告になります。

まず、9月26日富津公民館にて、4市の社会教育委員連絡協議会の研修を開催しました。4市持ち回りで当市が当番でした。この日は日本製鉄協賛金予算の変更に伴う臨時総会も併せて開催されています。研修では千葉県連絡協議会の会長の二宮義文さんにご講演をいただきました。様子と参加者のアンケート結果はお手元のとおりですので、ご覧ください。

11月21日、第56回関東甲信越静の社会教育研究大会ということで、君津4市連絡協議会では移動研修という形で、横浜市の関内ホールで行われた分科会の講義/事例発表に参加、聴講して参りました。

12月4日は第60回千葉県社会教育振興大会ということで、事例発表/分科会等ありました。千葉県社会教育委員連絡協議会の表彰では、富津市より大野泰代委員が表彰されております。

1月25日は君津地方社会教育推進大会を日本製鉄君津のホールで開催しております。内容は表彰/事例発表/講義となりまして、参加者は4市委員等で96名、来賓/受賞者等含め全部で約120名の参加となっております。日本製鉄での開催は今回で終了し、次回が先ほどご説明しました、富津公民館にて来年1月24日の開催となります。以上です。

高橋委員長

事務局からの説明は終わりました。各回に参加した私からの感想です。横浜で開催された関東甲信越静の社会教育研究大会の際の事例発表では、ある町の社会教育委員の皆さんが集まり、社教委員会議自体として直接に事業を実施して、その内容は、古来より地域に伝わる題材を基にした紙芝居を社教委員たちで集まって作成したという、そういった発表がありました。内容はともかく、これはちょっと社会教育委員の活動の範疇かどうか、という感じがしました。社会教育委員

	<p>の職務としては、やはり諸計画の立案や情報収集、諮問を受けて答申するとかであって、一緒に参加した君津市の会長ともそのあたりを話しましたが、同じ感想でした。会場参加者の社教委員からも、そのような意見があったように記憶しています。しかしながら、社会教育委員が直接何か（事業）をするというケースは、案外多くなっているという感触ではありません。</p> <p>では、他にありますか。無いようなので、次に、令和8年二十歳の集いについて、事務局の説明を求めます。</p>
事務局（長谷川館長）	<p>お手元に配布しました、令和8年富津市二十歳の集い出席者数集計表をご覧ください。</p> <p>二十歳の集いは、令和8年1月11日（日）に富津公民館ホールを会場に開催しました。今回の対象者数は353人、当日の出席者数は253人、出席率は71.7%でした。ちなみに前回の出席率は69.5%となっています。以上です。</p>
高橋委員長	<p>事務局からの説明は終わりました。</p> <p>ご質疑等ございますか。（なし）</p> <p>次に、（2）その他に移ります。</p> <p>委員の皆さんから何かございますか。</p>
杉田副委員長	<p>社会教育委員会議からの代表ということで図書館協議会に参加させていただいています。2期目に入った今年度は、県内の先進事例を見たいという委員の要望に応じて、年3回の会議のうち、第2回の定例会は、10月1日に移動研修を兼ねて、佐倉市の中央図書館「夢咲くら館」を視察させていただきました。参考資料として、その時の報告を付けていただいたので、詳しくはそれを見ていただきたいのですが、いろいろな発見があったり、活発な意見交換もできたり、</p>

充実した回となりました。

その帰りの車中で全員が意見を出し合ったあとも、周りの数人で話が膨らんで、市役所に着いた時には、是非この話し合いの続きをする会をしたい、ということになって、もちろんご都合のつかない方もいらっしゃいましたが、2週間後に公民館で自主勉強会をすることができました。このような正式の会議の場に限らず、そのような形で委員が集まることで、出てくる意見も多々ありました。

先日の図書館協議会で今後の開催の提案をさせていただいたところ、わざわざ別の日にとというのは困難な方も多いため、定例会議の後に、自主勉強会の時間を設けていただく方向で、ということになりました。

そこで思ったのですが、以前、10年ほど前になりますが、当時委員長だった三富先生の呼びかけで自主勉強会がはじまって、いろいろ勉強させていただいて、その後図書室の整理や、子どもの読書活動推進計画につながっていったということがありましたが、この社会教育委員会にこそ必要なのではないかと。学校とか地域とか社会教育施設とか、色々な課題を探し出して見つけて、定例会だけでなく、時にはオフレコで自由に話してみることも、社会教育委員の活動方法の一つになると思うので、そんな機会もあるといいなと思いました。あくまで自由参加で、また改めて皆さんが集まるのは難しいことでもあるので、例えばこのような定例会議の後に、別室でも延長して話し合いの機会を持つてみるというのも良いのではないのでしょうか。次回以降への提案ということで。

高橋委員長

わかりました。その他、事務局から報告は。

事務局  
(鈴木係長)

1点だけ、学びの門実行委員の選出についてご報告いたします。富津市市民会館で開催します、富津市民文化事業「ふっ

<p>高橋委員長</p>	<p>「つ学びの門」ですが、この実行委員の選出については、社会教育委員会議から 1 名の選出で、委員長をもって充てるとなっておりますので、ご本人の同意をいただいたうえで高橋委員長を選出していますので、報告いたします。</p> <p>はい、この学びの門実行委員についてですが、社会教育委員、公民館運営審議会委員、市文化協会委員などから集まっていて、私が副会長となりました。会長は市文化協会の会長です。今年 12 月 6 日に市民会館で開催予定となりました。</p> <p>以上で、本日の議事はすべて終了しました。 議長の職を解かせていただきます。 ご協力いただき誠にありがとうございました。 事務局へお返しいたします。</p>
<p>事務局 (篠田課長)</p>	<p>高橋委員長、ありがとうございました。 委員の皆様には、長時間にわたりご審議いただき誠にありがとうございました。 以上をもちまして、令和 7 年度、富津市社会教育委員会議、第 2 回定例会議を閉会といたします。お疲れさまでした。</p>